



## 2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月13日

上場会社名 フェスタリアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2736 URL <https://www.festaria.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 姉川 清司 (TEL) 03-5768-9969  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	4,760	△6.9	267	—	251	—	184	—
2020年8月期第2四半期	5,114	1.4	△161	—	△172	—	△149	—

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 184百万円( —%) 2020年8月期第2四半期 △131百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	157.81	151.17
2020年8月期第2四半期	△126.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	7,939	1,045	12.6
2020年8月期	8,028	860	10.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 999百万円 2020年8月期 814百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	0.00			
2021年8月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	9.2	280	—	240	—	100	—	85.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	1,193,000株	2020年8月期	1,192,100株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	25,925株	2020年8月期	25,925株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	1,166,449株	2020年8月期2Q	1,174,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年9月1日～2021年2月28日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が継続しました。政府による各種経済政策により、一時的に持ち直しの動きがみられたものの、再度の緊急事態宣言発令に伴い部分的に経済活動が制限されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する宝飾業界におきましては、株高を背景に高額品需要が堅調に推移し、オンライン消費の活性化やブライダルジュエリーの底堅い動きは見られたものの、コロナ禍による外出自粛要請に伴い商業施設を中心に来店客数が減少したことに加え、大規模催事の抑制やインバウンド需要の激減もあり、総じて厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、当社グループは、「変わる→変える」をスローガンに、「売上主義から利益主義」を経営方針に掲げ、収益構造改革による安定利益の創出とポストコロナ時代を見据えたデジタル戦略投資への準備を進めております。

主な取り組みとして、店舗・本社の合理化、商品力の強化、生産体制の見直し、業務標準化による業務効率の向上、販促効率の向上、CRMの強化、ローコストオペレーションの徹底を実施しました。また、新型コロナウイルス対応を契機とした社会・経済の加速度的なデジタル化を踏まえ、リアルとデジタルの融合を基軸とするビジネスモデルの再構築と進化を目指すべく、成長分野へのリソースシフトの一環として、これまで旗艦店の位置づけであったフェスタリア ビジューソフィア ギンザ（銀座本店）を2020年12月25日に閉店しました。

海外事業については、小売部門である台湾子会社の台湾貞松股份有限公司（日本名：台湾貞松株）は、台湾政府の新型コロナウイルス感染防止対策が奏功し、経済活動が概ね維持されていることもあり、売上高への影響は限定的となりました。加えて、アジアマーケットの重要拠点として、グループマネジメント体制の強化や執行体制の見直しを実施したことで経営効率が向上し、収益性が改善しました。

生産部門であるベトナム子会社D&Q JEWELLERY Co., Ltd（日本名：ディーアンドキュー ジュエリー）は、日本国内の急激な需要の落ち込みによるグループ全体の発注調整に伴い稼働率が著しく低下していたものの、日本国内の段階的な売上回復に伴い生産本数も回復基調となっております。

これらの取り組みにより、売上高は前年同四半期比354百万円（6.9%減）減少しました。当第2四半期累計期間末の店舗数が前年同四半期末に比べ8店舗減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により百貨店を中心に来店客数が大きく減少したことが主な減収要因となりました。一方、高まる消費の二極化を見据え、価格ラインの引き上げを実施した結果、当社の強みである提案接客力の下支えもあり、販売単価が前年同四半期比で23.3%増加するなど、1店舗当たりの生産性は向上しました。さらに、オンライン消費の活性化を追い風にEC事業が前年同四半期比137.1%増と大幅に伸長しました。

売上総利益は、前年同四半期比72百万円（2.3%減）減少したものの、主力商品“Wish upon a star”の売上が高価格帯を中心に好調に推移したことや、価格ラインの引き上げ効果もあり、売上総利益率は前年同四半期比で3.0ポイント上昇しました。さらに、ROA（総資産利益率）の向上を図るべく、SCM（サプライチェーン・マネジメント）の最適化を進めたことにより、仕入・在庫効率が向上し、フリー・キャッシュフローが大幅に改善しました。

費用面に関しては、コロナ禍での営業活動の制限に合わせた労務費や旅費交通費等の削減に加え、各種プロモーション施策の見直しなどの経費コントロールを推進しました。さらに、分散していた物流機能や修理機能の一元化を戦略的に実施したことで、サービスレベルを維持したまま、外注費や配送費のコストダウンを図りました。また、不採算店舗の撤退や各ディベロッパーとの契約条件の見直しを継続的に進めたことにより店舗家賃が低減したことに加え、2020年8月期に実施した一部店舗の減損損失により減価償却費が減少するなど、店舗関連費用が大幅に縮小しました。

その結果、営業利益は前年同四半期に比べ429百万円改善し、従来の利益計画を大きく上回って進捗しました。

また、最近の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を行った結果、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどに伴い、当第2四半期連結会計期間において、法人税等調整額28百万円を計上しております。

その他では、2020年11月30日に公表した「資本性劣後ローンによる資金調達のお知らせ」のとおり、成長投資のための長期性資金の確保と財務健全性の向上を目的として、株式会社みずほ銀行および株式会社日本政策金融公庫ならびに株式会社商工組合中央金庫の3行より総額800百万円の資本性劣後ローンによる資金調達を実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,760百万円（前年同四半期比6.9%減）、営業利益267百万円（前年同四半期営業損失161百万円）、経常利益251百万円（前年同四半期経常損失172百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益184百万円（前年同四半期純損失149百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度の資産の部は、前連結会計年度に比べて89百万円(1.1%)減少して、7,939百万円となりました。これは主に、現金及び預金が263百万円増加したものの、商品及び製品が135百万円、原材料及び貯蔵品が45百万円、有形固定資産合計が79百万円、差入保証金が64百万円、繰延税金資産が37百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度の負債の部は、前連結会計年度に比べて274百万円(3.8%)減少して、6,893百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が243百万円、賞与引当金が91百万円増加したものの、借入金の総額が602百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度の純資産の部は、前連結会計年度に比べ185百万円(21.5%)増加して1,045百万円となりました。これは主に、利益剰余金が184百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は12.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期通期業績につきましては、上期の業績が予想を大きく上回って進捗したものの、コロナ禍の影響による先行き不透明な状況を踏まえ、現時点においては、2020年10月15日付の「2020年8月期決算短信」で公表した従来予想を据え置いております。今後、業績動向や他要因も含めて通期業績予想を精査し、修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

なお、2021年8月期第2四半期連結業績予想の修正につきましては、2021年4月5日公表の「2021年8月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	950,566	1,214,411
受取手形及び売掛金	828,628	864,234
商品及び製品	3,035,487	2,899,600
原材料及び貯蔵品	1,087,131	1,041,572
その他	155,396	147,864
貸倒引当金	△1,082	△606
流動資産合計	6,056,127	6,167,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,077,460	919,722
減価償却累計額	△582,570	△571,241
減損損失累計額	△192,947	△87,762
建物及び構築物 (純額)	301,942	260,718
機械装置及び運搬具	98,747	94,945
減価償却累計額	△77,040	△76,790
機械装置及び運搬具 (純額)	21,707	18,155
工具、器具及び備品	314,880	291,980
減価償却累計額	△263,790	△254,101
減損損失累計額	△6,951	△3,934
工具、器具及び備品 (純額)	44,138	33,944
土地	30,000	30,000
リース資産	518,464	491,571
減価償却累計額	△343,898	△346,631
減損損失累計額	△42,967	△37,763
リース資産 (純額)	131,597	107,177
有形固定資産合計	529,386	449,995
無形固定資産	108,746	95,021
投資その他の資産		
投資有価証券	81,678	81,833
繰延税金資産	510,702	473,414
差入保証金	606,130	541,460
その他	142,286	137,504
貸倒引当金	△6,630	△7,036
投資その他の資産合計	1,334,167	1,227,176
固定資産合計	1,972,300	1,772,193
資産合計	8,028,428	7,939,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,675	645,497
短期借入金	1,880,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	773,789	760,513
未払金及び未払費用	561,815	536,600
未払法人税等	10,651	26,703
前受金	312,507	374,359
リース債務	101,922	95,375
賞与引当金	98,864	190,032
その他	90,256	114,267
流動負債合計	4,231,482	3,993,350
固定負債		
長期借入金	2,349,641	2,390,098
リース債務	131,397	85,660
退職給付に係る負債	275,833	292,067
その他	179,266	132,280
固定負債合計	2,936,138	2,900,106
負債合計	7,167,621	6,893,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	802,134	802,584
資本剰余金	609,443	609,893
利益剰余金	△534,583	△350,507
自己株式	△34,106	△34,106
株主資本合計	842,887	1,027,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△247	△148
為替換算調整勘定	△26,653	△27,204
退職給付に係る調整累計額	△1,397	△698
その他の包括利益累計額合計	△28,298	△28,052
新株予約権	46,218	46,003
純資産合計	860,807	1,045,813
負債純資産合計	8,028,428	7,939,270

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	5,114,880	4,760,818
売上原価	2,011,099	1,729,575
売上総利益	3,103,780	3,031,243
販売費及び一般管理費	3,265,263	2,763,584
営業利益又は営業損失(△)	△161,482	267,658
営業外収益		
受取利息	506	744
為替差益	22,230	16,004
その他	790	404
営業外収益合計	23,527	17,154
営業外費用		
支払利息	24,826	27,267
その他	10,044	5,893
営業外費用合計	34,870	33,161
経常利益又は経常損失(△)	△172,825	251,651
特別利益		
補助金収入	—	28,652
受取補償金	10,765	—
特別利益合計	10,765	28,652
特別損失		
臨時休業等による損失	—	33,814
固定資産除却損	34,303	—
特別損失合計	34,303	33,814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△196,363	246,489
法人税、住民税及び事業税	7,031	25,551
法人税等調整額	△54,366	36,862
法人税等合計	△47,335	62,414
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△149,028	184,075
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△149,028	184,075

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△149,028	184,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	98
為替換算調整勘定	16,943	△550
退職給付に係る調整額	294	698
その他の包括利益合計	17,234	246
四半期包括利益	△131,793	184,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,793	184,322
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△196,363	246,489
減価償却費	165,791	111,285
固定資産除却損	34,303	—
株式報酬費用	5,104	—
支払利息	24,826	27,267
受取利息及び受取配当金	△506	△744
為替差損益(△は益)	△5,550	△41
売上債権の増減額(△は増加)	142,809	△31,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△125,139	178,989
仕入債務の増減額(△は減少)	131,967	243,719
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,620	90,904
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,638	16,234
その他の資産の増減額(△は増加)	△26,127	7,498
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,116	76,437
小計	162,255	966,476
利息及び配当金の受取額	506	744
利息の支払額	△25,399	△26,099
支払手数料の支払額	△3,200	△3,200
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,117	△5,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,280	931,948
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△113,008	△65,703
無形固定資産の取得による支出	△16,525	△7,262
差入保証金の差入による支出	△3,770	△48
差入保証金の回収による収入	23,982	62,814
その他の支出	△4,155	△1,272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,475	△11,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	650,000	△630,000
長期借入れによる収入	400,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△385,728	△772,819
リース債務の返済による支出	△58,826	△52,790
新株予約権の行使による株式の発行による収入	736	828
自己株式の取得による支出	△20,485	—
配当金の支払額	△23,416	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	562,279	△654,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,800	△1,844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	591,884	263,844
現金及び現金同等物の期首残高	698,717	950,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,290,602	1,214,411

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。